

Mémoires 2020

マイルチャンピオンシップ

第37回マイルチャンピオンシップ(GI)優勝馬 グランアレグリア



豪快な末脚で春秋マイルG I 制覇



▲ 逃げるレシステンシア (帽色・白・左) は1馬身のリードを保って4コーナーから直線へ向かう。

女王が豪快な末脚でピンチを跳ね返し、春秋のマイルG I 制覇を達成した。

京都競馬場が改修工事に入り、史上初めて阪神競馬場での開催となった秋のマイル王決定戦。春に安田記念、そしてこの秋はスプリンターズステークスを制してマイルとスプリントの「2階級制覇」を成し遂げたグランアレグリアにとっては、3歳春に桜花賞を制した舞台でもある。そんな短距離女王が、単勝オッズ1.6倍と断然の1番人気に推された。



▲ 安田記念、スプリンターズステークスに続き、G I 3連勝を果たしたグランアレグリア。

レースを引っ張ったのは、同じコースの阪神ジュベナイルフィリーズを逃げて圧勝している3歳牝馬レシステンシアだった。2番手も3歳馬で、NHKマイルカップの覇者ラウダシオン。日本と香港でマイルG I 3勝のアドマイヤマーズは3、4番手の好位で、グランアレグリアもその直後の内を確保。さらにすぐ後ろには連覇を目指すインディチャンプが虎視眈々と続く。人気馬が揃って前に行く中、3歳馬ながら毎日王冠で古馬を一蹴し2番人気の支持を集めるサリオスは、後方から4頭目を追走する形となった。

直線に入ると、先行勢の外からアドマイヤマーズが、さらに外から並ぶようにインディチャンプがスパートをかけた。ところが内のグランアレグリアは、前のラウダシオンが壁になって動けずにいる。完全に後手を踏んだ本命馬が遅ればせながら外に持ち出せたのは、残り200m手前だった。

しかし、そこからの末脚は強烈だった。抜け出して競り合うインディチャンプとアドマイヤマーズの外から並びかけ、一瞬にして交わす。ゴールしたときには3/4馬身差をつけていた。

クリストフ・ルメール騎手は「渋滞にあったけど、それも競馬。スペースがなかったのは私のせいです。もう少し早めに外に出させていれば完全なレースができたと思います」と、ピンチを乗り越えての勝利を振り返った。また管理する藤沢和雄調教師は1993年シンコウラブリイ、1997～98年タイキシャトル、2001年ゼンノエルシドに次ぐマイルチャンピオンシップ5勝目となった。

これでグランアレグリアはG I を3連勝。同一年の春秋マイルG I 制覇は史上8頭目、牝馬としては1994年ノースフライト以来、2頭目の快挙となった。

第37回マイルチャンピオンシップ(GI)

11/22 阪神競馬場 1600m(芝・右・外) 曇・良 17頭

着順	馬名	性齢	斤量	騎手	調教師	タイム/着差	人気	通過順位
1	グランアレグリア	牝4	55	C.ルメール	藤沢 和雄	1:32.0	①	⑤⑤
2	インディチャンプ	牡5	57	福永 祐一	音無 秀孝	3/4	③	⑦⑤
3	アドマイヤマーズ	牡4	57	川田 将雅	友道 康夫	クビ	⑤	③②
4	スカーレットカラー	牝5	55	岩田 康誠	高橋 亮	1	⑬	⑧⑧
5	サリオス	牡3	56	M.デムーロ	堀 宣行	クビ	②	⑬⑩
6	ヴァンドギャルド	牡4	57	戸崎 圭太	藤原 英昭	1/2	⑧	⑪⑪
7	ペルシアンナイト	牡6	57	大野 拓弥	池江 泰寿	3/4	⑪	⑬⑬
8	レシステンシア	牝3	54	北村 友一	松下 武士	1	④	①①
9	ペステンダンク	牡5	57	藤岡 佑介	安達 昭夫	クビ	⑬	③⑤
10	サウンドキアラ	牡5	55	松山 弘平	安達 昭夫	1/2	⑦	⑪⑪
11	メイケイダイハード	牡5	57	酒井 学	中竹 和也	3/4	⑮	⑧⑧
12	アウィルアウェイ	牝4	55	藤岡 康太	高野 友和	3/4	⑭	⑬⑬
13	ケイアイノーテック	牡5	57	津村 明秀	平田 修	ハナ	⑩	⑬⑬
14	タイセイビジョン	牡3	56	石橋 脩	西村 真幸	アタマ	⑫	⑧⑧
15	ラウダシオン	牡3	56	武 豊	斉藤 崇史	アタマ	⑥	②②
16	ブラックムーン	牡8	57	幸 英明	西浦 勝一	1 1/4	⑰	⑬⑬
17	カツジ	牡5	57	池添 謙一	池添 兼雄	5	⑨	⑤④

単勝 ④160円 複勝 ④110円 ⑧190円 ⑦200円 枠連(2-4) 370円
馬連 ④-⑧620円 馬単 ④-⑧790円 ワイド ④-⑧280円 ④-⑦320円 ⑦-⑧830円
3連複 ④-⑦-⑧1,610円 3連単 ④-⑧-⑦4,480円

ハロンタイム 12.5-11.0-11.4-12.0-11.6-11.0-10.8-11.7
通過タイム 600m ③34.9-800m ④46.9-1000m ⑤58.5-1200m ⑥1:09.5-1400m ⑦1:20.3

優勝馬 **グランアレグリア**
2016.1.24生 父ディーピンパクト 母タピツフライ 母の父Tapit
安平・ノーザンファーム生産 馬主:(有)サンデーレーシング